



糸島市立雷山小学校
5月号 校長 田中 健悟
令和3年4月30日

新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます

4月13日(火)に34名の新1年生が入学しました。入学式では、担任の先生から呼名されると「はい!」と元気に返事ができました。

校長式辞の中で1年生に対し、「やさしい言葉づかい」を大切にしてほしいこと、やさしい言葉づかいをすれば、まわりの友達もやさしい言葉づかいで返してくれることをお話ししました。

教室では、子どもたちと担任との顔合わせ会を実施しました。

入学式から約半月。学校は、明るく元気な子どもたちの声と笑顔で活気に満ちています。



お迎え集会・歓迎遠足の様子



体育館に全校児童が集合できないため、リモートで「お迎え集会」を行いました。他学年児童は、1年生一人一人の顔と名前を、各教室の大型テレビモニターを通して知ることができました。



曾根運動場への歓迎遠足では、6年生児童が1年生の横について、お世話を頑張りました。おかげで安全で楽しい遠足ができました。

新年度教室の配置

今年度の教室配置です。

【校舎北側：道路側3階校舎図】

学び3	3の1	6の1	6の2
学び2	5の1	5の2	4の1
ひまわり	学び1	2の1	1の1

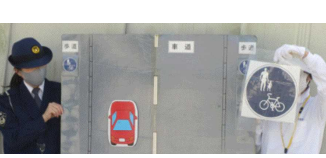
(児童玄関)

音楽室・準備室	樹のイラスト (中庭)
家庭科室・準備室	
職員室・放送室	保健室

【校舎南側：体育館側3階校舎図】

交通安全教室の様子(1年生、3年生)

糸島警察署、交通安全協会雷山支部の方々、保護者の方々の指導・協力により、交通安全教室を実施しました。小学生の「飛び出し」による交通事故を避けるため、1年生も3年生も「一旦停止、左右の確認」を中心に体験を通して学びました。自転車は、正面衝突を避けるため「車道の左側通行が原則」ですが、13歳未満である小学生は歩道の車道側を通行する規則も教えていただきました。



【1年生の様子】

【3年生の様子】

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のお願い

福岡県においても、連日大人数のコロナ感染が確認され、ステージ3や4の状況です。隣の福岡市立の学校では、始業式から4月22日までの約2週間で小中高を合わせて11校が学級閉鎖となっています。このような状況を踏まえ、福岡県から県民に対し、5月の連休を含む19日までの期間、不要不急の外出自粛や会食中の感染防止対策の徹底などの要請がなされました。

学校においても感染が確認されれば、学級閉鎖や放課後児童クラブの閉所とともに、児童や教職員のPCR検査の実施、検査結果が判明するまでの児童の同居家族の自宅待機など、様々な制限がかかることとなります。県内では、感染経路不明率が5割を超えており、誰が感染してもおかしくない状況ですが、連休中も引き続き、感染リスクを下げるための行動に留意いただきますようお願いいたします。また、連休中に児童がPCR検査となった場合は、市役所(092-332-1111)へ電話をお願いいたします。市役所学校教育課を通じて学校職員へ連絡が入ります。(27日配付文書参照)

《糸島市立小中学校統一事項》

●PCR検査受診となった場合、次の内容を学校へお知らせください。

- ①検査を受ける日/受けた日
- ②検査を受ける場所(医療機関名)
- ③検査を受ける理由(発熱、濃厚接触者等)
- ④検査結果が出る予定日

また、結果(陽性・陰性問わず)が判明次第、すぐに学校へ連絡をお願いします。

※児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合等、児童は「出席停止」扱いとなります。

おいしい給食いただきます

本校においても今年度から給食調理業務を民間業者に委託し、新たに給食がスタートしました。



これまでと同様に、毎日、子どもたちの栄養バランスを考えたおいしい給食が提供されています。

(写真は、21日分：ジャージャー麺、キャベツとほうれん草のソテー等)

※現在、市内小中学校22校中20校が民間による給食調理業務委託となっています。

5月・6月の主な予定

5/7(金)	委員会活動
5/8(土)	土曜授業(参観とPTA環境作業は延期)
5/10(月)	自主登校開始(～8/27)
5/12(水)	耳鼻科検診
5/12(水)・13(木)	プール掃除(予定)
5/14(金)	歯科検診、クラブ活動(4～6年)
5/21(金)	眼科検診
5/26(水)・27日(木)	内科検診
5/27(木)	全国学力調査(6年 国語・算数・理科)
5/28(金)	スポコン(長縄記録会)
5月末	PTA総会書面決議(予定)
6/1(火)	委員会活動
6/2(水)	避難訓練
6/5(土)	土曜授業(新体力テスト)
6/9(水)	第1回学校運営協議会(予定)
6/11(金)	プール開き・クラブ活動(4～6年)
6/15(火)	福岡県学力調査(5年 国語・算数)
6/19(金)	雷山空襲学習(全学年)
6/25(金)	クラブ活動(4～6年)

自尊感情への評価言葉の影響

自尊感情を高める方法として、「子どもをほめましょう」と言われますが、その一方で「ほめないで、勇気づけましょう」という教育心理学者もいます。それは、ほめる内容を間違え続けると、逆に自尊感情を低下させたり不安にさせたりするからなのです。簡単な例で説明すると、100点満点だけを「すごいね」とほめると、100点でなかったら「つまらない」という別のメッセージが子どもに伝わります。試合で勝利したことばかりをほめると、負けたら「価値がない」という別のメッセージが子どもに伝わります。したがって、「結果」ではなく「努力の過程」をほめるか、「よかったね」「うれしいね」と共感・関心を示し「勇気づける」ことが重要です。

周囲の大人が発する評価の言葉の積み重ねが、子どもの自尊感情や価値観に影響を与えるため、言葉を選択することが求められています。